

2019年7月10日

『フロントローディングの手引き 2019』 を発行しました

この度、建築本部の施工部会、設備部会、設計企画部会は、「フロントローディング」に関する基本的な考え方や実例等を紹介する『フロントローディングの手引き 2019』（以下、『手引き 2019』）を発行しました(2019.7.)。

1. 『手引き 2019』発行の背景

いま、官民を挙げて「生産性革命」「働き方改革」「人づくり革命」の取組みが進められています。建築の世界におきましても、業界全体で変革を進めようとの機運が高まり、そのスピードには目を見張るものがあります。こうした中で、川上での“ものづくり”を目指す「フロントローディング」の考え方が、変革を進める上での原動力の1つとして期待されています。

建設業においては、2010年代頃からフロントローディングへの取組みが急速に増え、設計・生産の業務プロセスを大きく変革した会社が出て参りました。しかし、現状では、個々の会社によって考え方や取組みは様々です。そこで、この期に日建連としてあるべき姿を示し、普及・展開の一助とすることを意図しました。

2. 目的

フロントローディングにより、建築主・設計者・施工者が三位一体でプロジェクトに取組み、理想的な“三方よし”の関係を構築することにより「早期に適正な品質・工期・コストに対する良好な合意を得ること」を目指し、会員各位がその“やり様”を理解し実践し、目標を達成する一助となることを目的としました。

3. 『手引き 2019』のポイント

- (1) 2016年、日建連は「生産性向上推進要綱」を発表し、生産性向上に対するひとつの方策として「手待ち・手戻りの解消」を掲げたことを原点としています(1章)。
- (2) 設計段階において、施工者は「生産情報(つくるためのスケッチ)」を設計者に提示し、設計者は建築主の意図を汲み、設計者と施工者の協議のうえ生産情報を設計図書に反映する、そして施工者はこれを施工図・製作図に反映する。これこそが設計と生産の協業によるフロントローディングの本質であると考えています(2章)。
- (3) 日建連版のフロントローディングの定義を次のように決めました。

「プロジェクトの早い段階で建築主のニーズをとりこみ、設計段階から建築主・設計者・施工者が三位一体でモノ決め（合意形成）を進め、後工程の手待ち・手戻りや手直しを減らすことにより、全体の業務量を削減し、適正な品質・コスト・工期をつくり込むこと」（3章）。

- (4) 「設計施工一貫方式」をベースに、フロントローディングの流れや進め方について、先進事例をもとに詳細フロー図を示し、「人材・組織」「計画」「図面」「コスト」の4つの視点から解説しました（4章）。
- (5) 建築主、設計者、施工者が早期に情報共有し、早期合意形成によるスムーズな設計、生産プロセスが実現するために、それぞれが果たすべき役割と、そこから得られるメリットについて解説しました（5章）。
- (6) 設計施工一貫方式をはじめとする多様な発注方式に対する、フロントローディングの適用のしやすさについて示しました（6章）。
- (7) 巻末資料として、①詳細版フロー図、②フロントローディングに有効なハード技術事例（※1）、③実施プロジェクト事例（※2）、④2017年におけるアンケート調査結果を掲載しました。

4. 今後の展望

- (1) フロントローディングの基本的考え方を日建連会員に普及・展開して参ります。
- (2) より多くのフロントローディング事例を収集し公開することにより、具体的な進め方やノウハウに関する関係者の理解を促進して参ります。
- (3) 設備に関するフロントローディングの取組みを充実させて参ります。
- (4) 現在は適用範囲が限られている設計施工分離方式においてもフロントローディングの効果が発揮できるよう手引きのバージョンアップを図って参ります。
- (5) 今後、様々なご意見を賜りながら、内容の充実と実務への適用拡大を図って参ります。とりわけ日建連以外からの御意見を賜り反映していきたいと考えています。
(国交省等の関係省庁、関係する団体、建築主の立場にある方々等)

5. 『手引き 2019』の頒布方法

日建連のホームページ「刊行物・資料」（※3）からPDFを入手できます。

（※1）フロントローディングに有効なハード技術事例は、《建築：生産性向上・省人化への取組み事例》「建築省人化事例集」から27事例を抜粋しました。 URL：<https://www.nikkenren.com/kenchiku/saving/search.html>

（※2）実施プロジェクト事例は、《総合：生産性向上》「生産性向上事例 2017年度版・2108年度版」から9事例を抜粋しました。 URL：<https://www.nikkenren.com/sougou/seisansei/>

（※3）URL：<https://www.nikkenren.com/publication/detail.html?ci=310>

問い合わせ先

(一社)日本建設業連合会（担当：井上・山口）

Tel. 03-3551-1118（建築部）

東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 8階

<http://www.nikkenren.com>